



永山公民館市民企画講座

連続講座『中央図書館は未来を開く』第2回

「図書館のめざすもの —変わりつつある図書館を考える」

講師：山口源治郎氏（東京学芸大学教育学部教授）

編著書：「新図書館法と現代の図書館」（日本図書館協会）、
「図書館を支える法制度」（勉誠出版）ほか多数

現在「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」が6月から2017年1月まで開催中です。7月には「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」の更新案が示され、本館の再構築と同時に地域図書館は当面継続されることになり全体の図書館網を考えていきます。

図書館史・法制度がご専門である山口源治郎氏に図書館の変わりつつある状況をお話しいただき、図書館はなぜ必要なのか、誰のためにあるのか、図書館のめざすものを改めて考えます。行政と市民がどのように役割を担っていけば良いのかも一緒に学びましょう。

◇日時 2016年12月4日(日) 午後2時～4時30分
(開場：午後1時45分)

◇会場 ベルブ永山(永山公民館) 4階 集会室

京王線・小田急線永山駅下車徒歩3分

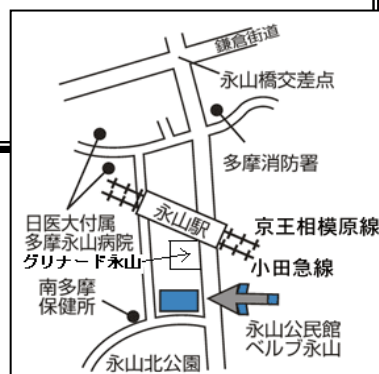
◇定員 45人(申込先着順10月23日より受付)
全回参加優先。定員に余裕があれば1回でも可能

◇参加費 資料代 300円

◇共催：多摩市に中央図書館をつくる会

◇問合わせ・申込：青木 Tel 090-7002-1588
E-Mail: yy.aoki@nifty.com

鈴木 Tel/Fax 042 - 389 - 6809



■□ 連続講座『中央図書館は未来を開く』□■

「多摩市立図書館本館再構築基本構想策定委員会」が開かれています。新たな本館策定に向けて、市民と職員が一緒に考えながら、市民と行政に役立つ図書館づくりを目指しましょう。

プログラム

1 回	テーマ 「いいまちづくり、役立つ図書館を目指して —図書館の担い手を考える—」	予定講師名 森下芳則氏 前愛知県田原市図書館長
	学習内容 図書館長として開館準備と運営を担ったご経験から得たお考えを聞き、市民のための図書館は誰が担うのが一番理想的なのかを考える。	
	開催予定	開催日 2016年11月6日(日) 開催時間 14時00分～16時30分 会場 永山公民館視聴覚室
2 回	テーマ 「図書館のめざすもの —変わりつつある図書館を考える—」	予定講師名 山口源治郎氏 東京学芸大学教育学部教授
	学習内容 なぜ図書館が必要なのか、図書館の変わりつつある状況、市民と行政の責任と役割をお話しいただき、私たちが何をすべきなのかを考える。	
	開催予定	開催日 2016年12月4日(日) 開催時間 14時00分～16時30分 会場 永山公民館集会室
3 回	テーマ 「図書館が日本を救う—図書館の可能性—」	予定講師名 常世田良氏 立命館大学文学部教授 元浦安市立図書館長
	学習内容 中央図書館・地域館ネットワークを整備すると、何ができるのか？市民と職員が一緒に考えることで、多摩市の、ひいては日本の未来を開く可能性を探る。	
	開催予定	開催日 2017年1月15日(日) 開催時間 14時00分～16時30分 会場 永山公民館集会室
4 回	テーマ 「中央図書館を中核とした多摩市の図書館網を 考えるワークショップ」(仮題)	予定講師名 日本ファシリテーション協会から 講師派遣
	学習内容 連続講座で学んだ内容をもとにして、中央図書館を中核とした多摩市の図書館網のあり方を参加者と一緒に考える。	
	開催予定	開催日 2017年2月26日(日) 開催時間 13時30分～16時30分 会場 永山公民館集会室

連続講座番外編

主催：多摩市に中央図書館をつくる会

番 外	テーマ 「中央図書館を見てみよう！—調布市立中央図書館の見学」	予定講師名 小池信彦氏 調布市立図書館長
	学習内容 多摩市には中央図書館がないので、中央図書館のサービスが実感できない。先進的な調布市に協力を得て見学ツアーを実施し、実際に見て中央図書館にしかできない役割を知る。	
	開催予定	開催日 2017年1月24日(火) 開催時間 10時～12時半 会場 調布市立中央図書館

★定員：45名(申込み先着順)、第4回ワークショップ定員30名、図書館見学約20名

★参加費：各回300円(資料代)

★共通申込み：10月23日～電話・FAX・メールで受付(たま広報10月20日号掲載)